

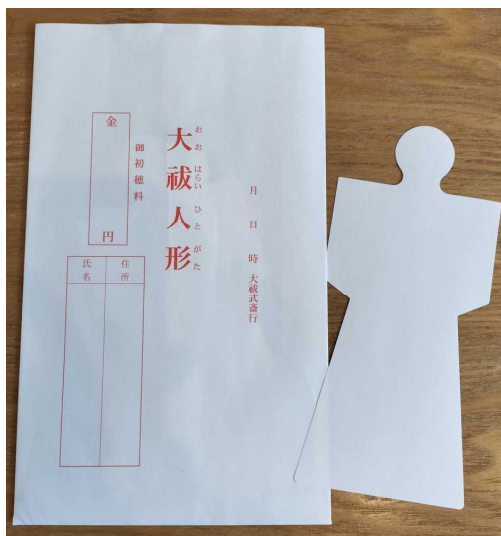
《第101回》西里校区徳王子ども会（3）「徳王菅原神社夏越の大祓（疫病籠り神事）とミニ縁日・花火会」 育成会会長 森崎 美里

令和6年7月28日（日）に「徳王菅原神社夏越の大祓（疫病籠り神事）」が執り行われました。人形に自身の罪穢れを移し、祓い清め、疫病除け、災難除けを祈ります。

子ども会では代表して6年生3名が、神前へ上がらせていただき、大祓詞を読み上げ、玉串奉奠を行いました。

江戸時代、徳王村時代より始まり、田植えが終わり一段落した所で英気を養うために、夏の一番暑い時期に執り行われる神事です。

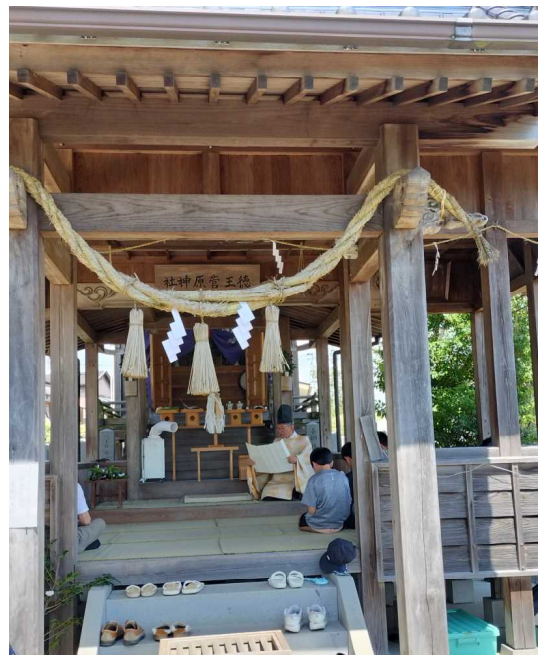
今年も猛暑続きですが、疫病災難に負けず、元気に乗り切れることでしょう。



大祓人形（おおはらいひとがた）



人形に名前を書いて、袋に入れて、神社に納め、お祓いをして頂きます。



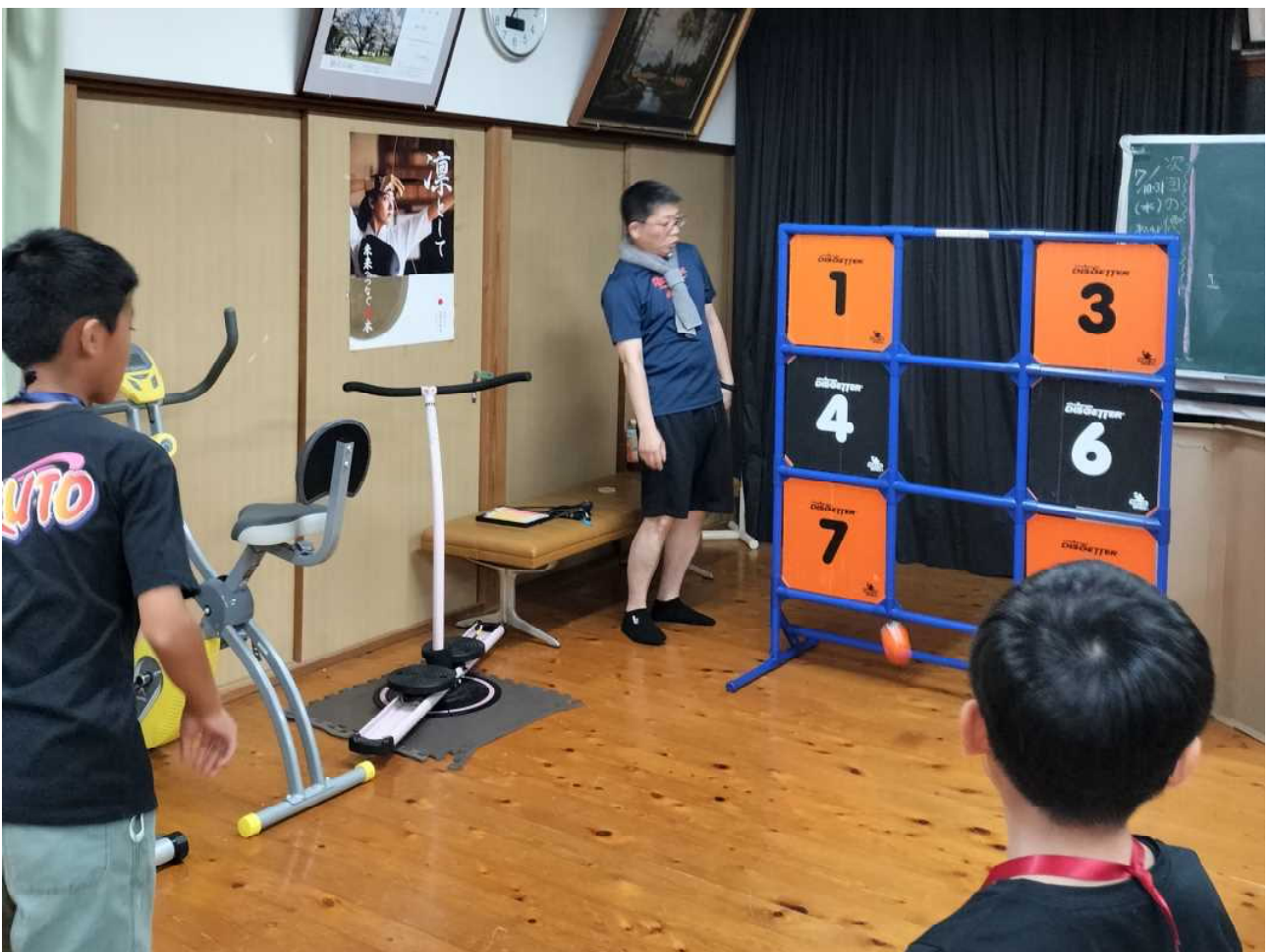
同日に徳王公民館で「ミニ縁日」を開催しました。40名近く子ども達が集まり、賑やかな声が響き渡りました。

熊本市子ども会育成協議会からお借りした、ディスゲッター、輪投げ、射的が大活躍で、みんなとても喜んで遊んでいました。

縁日後の花火会では、初めて花火を遊ぶ子へ教える子、隣の子から貰い火をして楽しむ子、など交流が生まれていました。

快くお手伝いを申し出下さる保護者様、「子ども達が楽しむ姿をいっぱい見れて嬉しい」「とても楽しかった！次回は手伝わせてください！」など嬉しいお言葉も沢山いただきました。

子どもも大人も楽しい交流の場となり、開催してとても良かったと思っております。





《事務局から》

事務局長 白石 和典

- ① 活動報告ありがとうございました。神社の「夏越の大祓」（疫病籠り神事）が江戸時代から続いていることもすごいです。その行事に子ども会が参加するということも大変素晴らしいことです。日本の伝統文化に触れる機会は少なくなってきました。子どもたちは貴重な体験が出来たと思います。地域の伝統文化に触れることは子どもたちの視野を広げ、成長に役立つことでしょう。
- ② ミニ縁日・花火会は楽しい行事になったようです。花火会では子ども（おそらく上級生と下級生）の間に微笑ましい交流があったようです。このような光景は、地域の異年齢集団＝子ども会活動ならではのようです。また、保護者の皆様の自主的・積極的な協力も素晴らしいです。しかも、「子ども達が楽しむ姿をいっぱい見れて嬉しい」と、手伝うことが自分のプラスになる事と捉えられていることに敬意を表します。子どもも保護者も楽しめる素晴らしい運営が出来ていますね。
- ③ 徳王子ども会の益々のご活躍と、子どもたちの健やかな成長を祈念いたします。